

たけた

# 市議会だより

2010.5.1

No. 19



今年（37回目の大名行列）の城主はNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」で廣瀬武役を好演中の藤本隆宏さん（前列中央）

## 《もくじ》

- 平成22年度一般会計当初予算を可決（議案の審議結果）…………… P2  
    予算総額164億680万円
- 議会改革調査特別委員会報告 …………… P3  
    議員報酬3%カット!
- 会派代表質問・議員一般質問 …………… P3~P8
- 議員ふんとう記 …………… P8



下に~下に~

## 安心して 食糧自給を望む

政権交代して半年が経った今日、日本経済も国民生活も回復の兆しが見えてこない。経済学者に言わせれば経済は生き物である。ラセン階段のように、物価が下ればその次には給料が下る「デフレスパイラル」。安くても買い控えにより物が売れなくなる現象である。今や日本だけの問題ではない。外国に頼る日本経済は、たとえ話であるが、アメリカが風邪を引けば日本は肺炎になるとも言われている。日本の食糧自給率も40%を切ろうとしている。いまや世界の人口はどんどん増え続け65億人。お金で食糧を買えば良いという時代は早く終わりにしなければ。発展途上国では食べることもできず、餓死している現状である。食糧自給率の向上を切に望む。

（編集委員 後藤 憲幸）

# 平成22年度当初予算を可決

平成22年第1回定例会において、平成21年度一般会計補正予算と平成22年度一般会計予算を審査するため、予算特別委員会が設置されました。



予算特別委員会  
委員長 森 哲秀

平成21年度補正で、地域活性化・きめ細かな臨時交付金(3億1,684万7千円)

が交付されるため、普通建設事業や施設の維持補修費、地域活性化事業などに充てられた。南山荘にスプリングラーの設置と居宅部分の屋根の塗装工事を行う。道の駅すごうの駐車場舗装及び浄化槽修繕整備、西部地域の農産加工所建設、南部地域の農産加工所の浄化槽設置費等が追加された。平成22年度当初予算の編成方針は、事務事業の見直しと、組織・機構の簡素化効率化等による行財政改革を積極的かつ計画的に推進し、市民が主役のまちづくりに取り組む

とした。前年度6月の肉付け予算と比べ、率にして9.7%の減額となり、予算総額は164億680万円となった。国の事業見直し等により公共事業が大幅に削減された。農業者が元気で営農活動ができるシステムや竹田ブランドの全国への推進活動等々、人の命と暮らしを守る予算配分となっており、審査の結果、採決は起立により行い、起立多数で原案どおり可決した。



予算特別委員会

## 《主な議案の審議結果》

### 第1回臨時会(平成22年1月18日)

### 第1回定例会(平成22年3月4日～3月25日)

- ▽不動産の取得について 可決
- ▽竹田市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定について 可決
- ▽平成21年度竹田市一般会計補正予算(第10号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市竹田温泉施設花水月特別会計補正予算(第2号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市長湯観光温泉施設等特別会計補正予算(第5号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市老人保健特別会計補正予算(第2号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第5号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市国民宿舎直入荘事業特別会計補正予算(第4号)について 可決
- ▽平成21年度竹田市水道事業会計補正予算(第5号)について 可決
- ▽平成22年度竹田市一般会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市同和对策事業特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市立こども診療所特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市畜産開発事業特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市国民健康保険特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市老人保健特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市後期高齢者医療特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市介護保険特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市簡易水道事業特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市農業集落排水事業特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市国民宿舎直入荘事業特別会計予算について 可決
- ▽平成22年度竹田市水道事業会計予算について 可決
- ▽竹田市防災行政無線通信施設条例の制定について 可決
- ▽竹田市職員の給与の特例に関する条例の制定について 可決
- ▽道の駅すごうの施設の設置及び管理に関する条例の制定について 可決
- ▽竹田市久住さやかの設置及び管理に関する条例の制定について 可決
- ▽竹田市長湯温泉「長生湯」・「天満湯」の設置及び管理に関する条例の制定について 可決
- ▽竹田市職員定数条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市企業の育成及び誘致促進に関する条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市竹田温泉施設花水月条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市福祉施設はくすの設置及び管理に関する条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市簡易水道設置条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市分担金徴収条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市長湯観光温泉施設等条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市国民宿舎直入荘条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市違法駐車等の防止に関する条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市市営住宅条例等の一部改正等について 可決
- ▽竹田市市立幼稚園設置条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市公民館条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市火災予防条例の一部改正について 可決
- ▽工事請負契約の変更について 可決
- ▽過疎地域自立促進計画の変更について 可決
- ▽竹田市と大分市との証明書等の交付に係る事務の委託に関する協議について 可決
- ▽竹田市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定について 可決
- ▽指定管理者の指定に関する件について 可決
- ▽普通財産の貸付けについて 可決
- ▽普通財産の減額貸付けについて 可決
- ▽人権擁護委員候補者の推薦について 可決
- ▽平成21年度竹田市一般会計補正予算(第11号)について 可決
- ▽竹田市行政組織条例等の一部改正について 可決
- ▽竹田市特別職の常勤職員の給与に関する条例等の一部改正について 可決
- ▽指定管理者の指定に関する件について 可決
- ▽和解及び損害賠償額の決定について 可決
- ▽竹田市副市長の選任について 同意
- ▽《議会議案》
- ▽竹田市議会委員会条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市議会議員報酬及び費用弁償条例の一部改正について 可決
- ▽竹田市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について 可決
- ▽《請願・陳情の審査結果》
- ▽保育所・児童入所施設的环境改善を求めることに関する請願 採択
- ▽国民宿舎直入荘の存続についての陳情 継続審査
- ▽《意見書の審査結果》
- ▽保育所児童入所施設的环境改善を求める意見書の提出について 可決





足達 寛康 議員

### 新政クラブ

毎年1回3月定例会において、会派(3名以上)の代表者が具体的政策について質問するものです。

3月10日に3会派の代表者による代表質問が行われましたのでお知らせします。

なお、原稿は議員本人が執筆しています。

### 代表質問



## 議員報酬3%カット!

### 議会改革調査特別委員会報告

(議会改革調査特別委員会 委員長 伊藤孝信)

本委員会は、平成21年6月25日の設置から本年3月まで、7回の会議と2市(熊本県人吉市・鹿児島県出水市)の調査を実施した。その間に得られた主な結果は次のとおりである。

1. 議員報酬については、平成22年4

2. 月1日から平成25年3月31日までの間、3%減額する。
3. 政務調査費については、平成22年度から24年度までの間、4万円を減額し、年額14万円とする。

また、政務調査費使途基準に定める経費のうち、備品、事務機器購入、及びこれらに係るリース料を対象経費から除外する。

なお、議員定数については、18名から20名で検討しており、平成22年度中に結論を得るように努力する。

円とする。

また、政務調査費使途基準に定める経費のうち、備品、事務機器購入、及びこれらに係るリース料を対象経費から除外する。

なお、議員定数については、18名から20名で検討しており、平成22年度中に結論を得るように努力する。



トマト部会の一本化を!

### 農業問題について

足達 本市の農産物、加工品の販路開拓はどうか展開するのかが。

農政課長 市内、県内の販売強化は勿論、竹田市東京事務所、仙台事務所等を通じ全国に情報発信し、販路を開拓し

### 畜産問題について

足達 産肉能力検定結果の報告を全頭制度化してはどうか。

畜産振興室長 県は把握している(肥育牛出荷者の同意分)。個人情報であるため、生産農家個人分は請求すれば公開できる。

### 地域医療の充実について

足達 耳鼻咽喉科の設置を。

市長 多くの市民が切望する科の誘致に向けて、市独自の

### フォーラム等について

足達 フォーラム、シンポジウムの総合的な評価と市政に今後どう反映させていくのか。

市長 13回開催、市内外へ情報発信してきた。市民の皆さんにとって、まちづくり機運の醸成に繋がると判断。一過性の開催に終わることなく、適宜開催していきたい。

### 雇用対策について

足達 竹田総合学院由学館とは。

企画情報課長 地域に根付いた人材育成、起業、就労支援

### 緑風会



佐田 啓二 議員

### 竹田市政の運営方針について

佐田 本年度開催のシンポジウムフォーラムの回数と経費は、企画情報課長 市主催が9回、共催が4回計13回行っている。

市長 市主催の分で675万円だ。

佐田 どう評価しているか。

市長 情報発信ができた。企画が実践され、それが新たな市民運動のエネルギーを生んでいくというところに最大の評価がなされても良い。

佐田 その後のフォローは。

市長 大きなのは城下町の再生だ。エコミュージアム構想の実践など企画を次のまちづくり活かしていく。4月に組織改編を行い、新たな事業展開をしたい。

や歴史、文化資源を発見し雇用創出や活性化を図り、総合調整を行うのが竹田総合学院である。



13回開かれたシンポジウムとフォーラム

佐田 市長の政策の展開があまりに多く早いため、現場は消化不良なところはないか。

市長 企画段階からプロジェクト会議での意思疎通を心がけている。回数が多いというが、今それを凝縮して行わなければならない。ご指摘のように、根を張らずに流れていくことのないように、今後とも気を配り対応していく。

佐田 中期財政計画による平成25年度の基金枯渇は。財政課長 綿密な資料収集での計画であり現実性は高い。引き続きの改革が必要だ。

佐田 今後の行財政運営方針は。市長 行財政改革は計画以上にやっている。国の政策を先

導的に取り入れ活力を見出す政策を展開していく。  
佐田 その他に市職員の健康管理等々について質問した。

## 新風会



日小田 秀之 議員

### 公共施設整備計画について

日小田 公共施設整備計画は、市民生活に直結する重要な計画である。根拠法令と計画化のプロセスは。

企画情報課長 竹田市総合計画の実施計画として位置づけられている。市民の要望等を踏まえ、緊急性・優先度等を見極めながら編成にあたっている。

日小田 道路交通網の整備は喫緊の問題だ。市道の改良率は合併後27%しか改善されていない。市はどのような基本方針で道路整備に臨んできたのか。

建設課長 国県道はかなり整備されているが、市道は10

25路線で改良率56・8%。幹線道路は国の交付金事業等で改良を進めている。生活道路も維持補修・災害復旧等を行っている。

日小田 道路整備は現状を踏襲していくことで本当に良いのか。中長期的視野にたった道路ビジョンが必要ではないか。

市長 道路整備は重要な課題であるが、国の財政支援が縮小している中では、緊急性等総合的に勘案しながら整備をしていくしかないと思っ



国の支援が縮小されている道路整備

### 新たな農業政策について

日小田 集落営農法人対策と戦略作物の実需者開拓をどう考えているのか。

農政課長 大豆中心の集落営

農は交付金単価が下がり大打撃となる。戸別所得補償制度の23年度からの本格実施に向け、大豆の円滑な生産が続けられるよう国に働きかけていきたい。新規需要米の処理可能面積は、市内で30haを予定している。

## 一般質問

○3月定例会では、  
3月11・12日の  
2日間、9名の  
議員が一般質問  
を行いました。  
その内容を要  
約してお知らせ  
します。



中村 憲史 議員

### 農業振興 西日本一のトマト産地の危機

中村 生産者部会の今日の現状把握は、できているのか。行政としての今後の対応は。市長 地域本部と問題解決に努めてきた。市農業の大きな問題であり今後も努力する。

### 本市の宝である草原の 保全是

中村 現状を把握したなかでの火入れ条例のさらなる見直しを。行政として今後どのように関わりを持ちながら保全に努めるのか。境界を接する自治体（産山村）、牧野組合との連携による火入れの取り組みは。  
市長 行政課題の一つとして地域と議論し、方策を見いだしたい。



環境保全に必要な野焼き

### 指定管理者制度 運営審議会を設置しては

中村 各種施設が指定管理されているが、施設の分類を行い、市として統一した見解を示せる審議会を設置しては。

償還の終わった施設で地元は無償譲渡できる施設があるのでは。  
市長 行政が主体性をもって対応したい。



森 哲秀 議員

### 農業問題について

森 農業の振興で食糧自給率アップ、林業の振興で山林の整備及び獣害対策、地球温暖化防止につなげては。

市長 建言書を農水省の郡司副大臣に提出した。基本は日本の国の基軸をなしている原点到立ち帰り、「瑞穂の国たれ」のテーマで送った。今農村の置かれている状況の中で自給率等々はあるが、これは総合的に国策で対応していくという方向性がもう少し明確に示されないかぎり、一自治体で温暖化防止が実現するはずがないと考える。経済対策で椎茸種駒助成により、広範囲のくぬ木林が整備されている。獣害対策で「箱わな」を

作ったが、根本的に対策・政策を見直していかねばと考える。小自治体で解決できない所は、国に求めていく。  
森 カボスの振興は。販売戦略は。

市長 JAの経営戦略で共販・量販体制の市場の方向性が九州管内に止まっている。一部は県南の柑橘類と束ねて首都圏へ販売しているが、ほとんど九州管内に止まっている。販売戦略は原点到立ち帰り、地産地消から始め、今回立上げた農村商社を通じ販売戦略を立てる。首都圏にどう売るか、竹田事務所長を通じ東北地域にイメージアップを図る。

森 豊後牛は危機的状況にあ



望まれる販路拡大

る。振興策は。

畜産振興室長 特に発育の良い子牛は価格が上がってきた。高値で売れる子牛生産に取り組む。生産コスト削減・飼料等の共同購入・消費拡大に向けた取り組みを行う。



岩屋 千利 議員



### 林業の振興策について

岩屋 森林所有者の林業への意欲は年々低下している。対策は。

市長 特定間伐の目標に対する実績は約50%で、今後目標達成に向け様々な対策を講じたい。

岩屋 温暖化対策等森林の果たす役割は大きく、今後成長産業としての期待も大きい。市単独補助等他市に先駆けた取り組みを。

市長 全伐後放置された林地も多く憂慮している。近時の

林業は様々な問題を抱えており、市はもとより国や地球規模の取り組みは不可欠。市長会等を通じて積極的な働きかけをしていく。



荒廃を防ぐために...

### 畜産の振興策について

岩屋 9月議会において、肥育拠点の設置に前向きな答弁を頂いたが、その後の取り組みは。

畜産振興室長 プロジェクト会議においても肥育拠点の設置は、最重点項目と位置づけ、県や豊後大野市と連携の下、県JA、全農はもとより、企業の参入も視野に調査研究をしている。

市長 豊肥市場の取り扱い頭数は全国で17番目の位置にあるものの、売上げ価格は50位

以下のランク外、肥育拠点がないことが主たる原因と思われる。今後民間活力の導入も視野に積極的に取り組んでいく。

### カワサキ大分の解散について

岩屋 解散の申出後の取り組みは。

直入支所長 会社側の解散の意向は覆せず、今後は従業員の雇用対策や跡地の有効活用等についての協議に入らざるを得ないと判断している。

市長 今後の対応が重要であり、「災い転じて福となす」の気概で取り組んでいきたい。



阿部 雅彦 議員

### 「農商工観連携事業」の立ち上げと育成の取り組みについて

阿部 どの組織や個人がどのような取り組み方を本事業で行うように考えているのか。農政課長 竹田の地域資源を束ねて情報発信をしていくこ



とが肝要。農村商社を中心に市民や消費者が求める商品づくりや組織づくりを模索したい。

阿部 農村・商店街・竹田総合学院(TSG)の連携事業はどのように進めていくのか。企画情報課長 TSG構想を主軸として全国より意欲的な人材を獲得し、竹田で雇用や起業ができるように農村や商店街などの受け皿づくりを進めていく取り組みを計画したい。

### 竹田水害緊急治水ダム(玉来ダム)の取り組みについて



完成した稲葉ダム

阿部 河川改修・護岸工事・ダムの治水としての役割をど

のよつに考えているか。また、今後県や国への要望の取り組みは。

建設課長 現在、終了している河川改修や護岸工事では20年前の水害を防ぎきれない。今後玉来ダムの建設を関係諸団体と連携を取り、県や国に強く要望をしていく。

### 男女平等参画社会に向けた取り組みについて

阿部 竹田市が制定した「男女共同参画推進条例やプラン」の進捗状況と今後の課題をどのように考えているのか。総務課長 それぞれの世代や生活者の声を聞き、心地よいワークライフバランスの実現を目指して、全庁的にこの事業を推進していくための機能強化ができるよう努めていきたい。



後藤 憲幸 議員

### 道の駅すごうについて

後藤 安心安全な農薬の使い

方の指導研修が必要と思われるが、どのようにするのか。農政課長 研修会を行う指導者を配置し、クリーン農業を目指す。

### 政所大橋(仮称)の建設について

後藤 荻町政所から国道57号線まで直線で結ぶ大橋の建設をし、県道の改良を県に要望しては。

建設課長 中九州高規格道路のアクセス道路との動向を見極めながら検討していく。市長 合ヶ瀬、岩戸に次ぐ三大大橋、利便性のよい橋であるので、チャンスを見計らって県に要望していく。

### 農林業問題について

後藤 大分県農協になつたみどり地域本部との連携は取れているか。最近の農協は大きくなりすぎて、サービスの低下にならないように竹田市も手助けをしては。農政課長 市と農協で話し合いをしながら要望にこたえていく。

後藤 杉花粉防止対策として実が成る杉の伐採に補助を出しては。東京都奥多摩町では

費用30億円かけ1200haの山を伐採している。東京だけでなく地方からも発信しては。農政課長 花粉の少ない品種の開発を全国的にやらなければ効果が少ない。声を大きくしていく。

### 人口減対策について

市長 飛散距離も広く全国的にやるように県市長会、全国市長会を通じ訴えて行く。



子育て支援の充実を!

後藤 竹田市と津久見市が県下で一番人口減が続くこのデータがある。出産祝金等はどうか。企画情報課長 全国的に出生数は減っている。竹田市は県下では多い方。子育て支援に軸足を置いていく。

後藤 竹田市と津久見市が県下で一番人口減が続くこのデータがある。出産祝金等はどうか。企画情報課長 全国的に出生数は減っている。竹田市は県下では多い方。子育て支援に軸足を置いていく。



渡辺 克己 議員

### わかば農業公社について

渡辺(克) 12月の定例会において統合し、整理される方向であったわかば農業公社が存続されると聞くがどうなのか。農政課長 県より、設立趣旨から今廃止することは好ましくないとの指導があり、農業受託事業に特化し存続させる。渡辺(克) 機械の更新時期を迎えており、収益性の低い農業受託事業だけで公社の存続ができるのか。市長 高齢化や後継者不足に併せて条件の悪いほ場には、一般の受託事業者が入らない現状がある。農地を守るために行政として赤字を覚悟しても農作業受託事業を継続したい。

渡辺(克) 平成22年度からの第3期中山間地域等直接支払制度の要綱が決定され、農地の保全への取り組みが交付の要

件となっている。この事業により対応してはどうか。この事業に農政課長 第3期中山間地域等直接支払制度の事業推進時に地元と協議をしていきたい。



渡辺(克) 「道の駅すげう」の4月開設に伴う農業公社の整理であり、その方向が変わることや、加工所、駐車場の整備費が今回計上されている。道の駅事業としての計画性はどうか。

市長 短期間でこの構想が立ち上がり、毎日新たな情報が入る中で最善を尽くし、それらに対応している状況であり、なお経済対策予算の見極めもあった。

渡辺(克) この他に竹田市の特定期間を取り扱う郵便局の指定については行政サービスの公平性を質問した。



渡辺 龍太郎 議員

### 竹田市の美術館建設について

渡辺(龍) 大分県では平成21年3月に策定した「中期行財政ビジョン」の中で、県立美術館の基本構想の策定に着手することを明記している。竹田市でも(財)田能村竹田顕彰会、岡の里事業実行委員会、南画の里(いん)をすすめる会、竹田市美術協会等が美術館建設や県立美術館の誘致運動をしてきた。市は、美術館の必要性をどう考えているか。

教育長 竹田市は豊かな文化的土壌を持ち、多くの分野で専門家が育ち多彩な活動を展開している。現在竹田市に寄贈された作品を含め、取り扱いが課題になっている。作品の收藏、保管や展示をする観点から、市長の掲げる図書館建設構想や、エコミュージアム構想の観点から、さらに、竹田の優れた文化を内外に伝

えるためにも美術館の必要性は検討に値するものだ。



渡辺(龍) 美術館建設は多額の資金を要する。今、県立美術館構想が検討されているので、官民一体となって南画美術館(分館)の誘致運動をすすめてはどうか。

市長 大分市美術館、芸術会館の持っている魅力を受け止めることができる施設として魅らせておけば必ず、100%の分館機能というよりも、竹田で、大分市美術館でも、芸術会館でも見られなかった物が、そこでも同じような形で見られるという場づくりをエコミュージアム構想の中で樹立していく事が生誕の地ならではの大きな力になるので、議員の提案の方向性を活かし

ながらエコミュージアム構想の検討の柱にしたらと感じている。



河野 泰浩 議員

### 介護老人福祉施設について

河野 特別養護老人ホームに申し込んでいるが、なかなか入れない。定員と待機者数は。保険課長 竹田市内には悠々居、久住荘、美晴が丘があり定員は181人、待機者345人、重複申請有り。

河野 要介護4と5は何名か。保険課長 要介護4は79名、要介護5は30名。河野 待機期間が長い人は何年か。保険課長 要介護4の方で5年、要介護5の方で4年間待機している。順番がきても入院されているケースがある。河野 要介護5で4年も待っている。施設が不足している。施設を増やすことが必要だ。次に利用料金の介護老人保健

施設との比較、差額料金の援助の方法はないか。

保険課長 低所得者は申請により居住費、食費が減額、1か月の負担が高額になると、高額介護サービス費が支給される。介護保険制度の援助はない。

### 農地災害の要件緩和について

河野 9月議会で「災害復旧支援被害額40万円以上はハードルが高い。県、国に対し要件緩和を」と求めておいたが経過はどうか。農林整備課長 市独自の支援策を研究するよう市長から指示されている。早急に対応策をとる。



### 国保税不納欠損額について

河野 20年度決算の国保税不



納欠損額1,659万円は適正か。  
 河野 高すぎて払えないのが実態。署名運動等進めていきたい。



井 英昭 議員

ケーブルネットワーク事業について

井 市が制作する番組が終わり、次の放送が始まるまでに

竹田市の風景などを放映している。この時間帯を活用し、市民が主催のイベント告知や有料広告など情報発信に活用されないか。

ケーブルネットワーク推進室長 多くの市民活動を告知することは大切な役割である。市民の皆さんから情報を頂き、

市民のための「より良い番組制作、番組編成」を今後益々充実させていきたい。有料広告については地元商店や企業などの広告については地元商店や企業などの広告に活用できる

よう今後は他の自治体ケーブル局を参考にしながら取り進む方向で調査、検討していく。



まもなく放送開始!

どうか。市外在住の竹田市出身者にも情報発信ができ、様々な可能性が広がっていく。ケーブルネットワーク推進室長 現在、シンポジウム等は土日に特別番組として放映している。インターネットで放映するには別途サーバーを整備し、更に画像変換用の機器が必要となる。これらの機器整備には高額な費用が必要となるが、市民の皆さんの要望を踏まえながら前向きに検討していきたい。

井 たくさんのシンポジウム、フォーラムが開催されているが、行きたくても行けない場合もある。それらをテレビ放送だけでなく、インターネットでも見られるようにしては

井 その他に、地域検定の創設について、国道442号線バイパス開通後の久住地区のまちづくりについて質問した。



大名行列に参加

岡城桜まつり大名行列には、荒巻文夫議長・森哲秀議員

と私の3人が参加、当日は天気も良く桜も満開と好条件での初体験です。今回もまた(悪代官)目付役荒巻議長とその近習侍の役です。13か条にも及ぶ注意書きのとおり、下に下下下で右足から出発します。これが意外と腰にきました。37回

もの伝統の重みからか前を行く高校生を真似しながら必死について行くのでした。伝統ある行事、商工会議所青年部は30余会員となり存続の危機とも聞きますが、是非とも受け継いでもらいたい行事だと感じました。(渡辺 克己)



お疲れさまでした



春の訪れが日増しに聞こえて来る。木の芽も大きく膨らみ、桜も開花、いよいよ春だ。外国は夏ばかりの国や、冬ばかりの国もある。日本の四季は素晴らしい。春夏秋冬、それぞれの良さがある。(後藤 憲幸)

次の6月議会からは一般質問がケーブルテレビで放映されます。お茶の間から身近に議会を感じていただけたら幸いです。(井 英昭)

さて、だれのネクタイが一番派手になるのでしょうか? 自分もコーディネイトを考えないと... (足達 寛康)

3月は別れの時、涙雨ばかりで日照不足、4月は新たなスタートの季節らしく、素晴らしい好天に恵まれ「花水月道の駅すこう・竹田店」と期待と希望の相次ぐオープン。市民の皆さんの絶大なる御協力を!! (足達 寛康)